

Bookmark

ネット時代の個人と図書館

経済学部 教授 庄司 啓一

城西大学創立50周年記念の水田記念図書館、および地域相互協力図書館合同主催の公開講座にて、2015年11月25日に、私は「TPPとアメリカの世界戦略—オバマ政権の推進するTPPの真の狙いは何か」と題して、水田記念図書館9階で話す機会をえた。ちょうどTPPの大筋合意がなされた直後ということもあり、会場は満員の盛況であった。参加者の多くが地域の方々であったが、学生の参加も見られた。学生のみ講義と異なる雰囲気、皆さんの熱心にノートを取る姿や質問に大いに刺激を受けた。

私がかつてロサンゼルスのカリフォルニア大学に研究員として滞在したさい、図書館ではしばしば講演会、シンポジウムなどが開催されていた。そこでは、職業、年齢、専門などを問わず、多様な人々が参加してコミュニティ的空間のなかで熱心に議論が行われていた。つまり、大学図書館が、教職員や学生ばかりでなく、広く住民にも開放され、地域の「学びの

拠点」となっていることに感銘を受けた。

1990年代半ばまで、リアルな情報を手に入れる手段をほとんどもたなかった世界中の大多数の人が、たったひと世代のうちに、手のひらに収まる端末を使って、世界中のデータベース＝人類共通の知の遺産に、ネットワークをとおして自由にアクセスできるようになった。一部の権力者やエリートではない普通の人々が、時間と空間を超えて瞬時に情報や知識を自由に発信できるネット・コミュニティの世界がすでにできあがっている。

最近、かつてよく通った日比谷図書館に数十年ぶりに行く機会があった。そこは、名前も日比谷図書文化館と変わり、以前とはまったく異なった新しい空間となっていた。そこでは、Web図書館が作られ、電子図書が貸出可能となり、24時間ネットをとおしてサービスを受けることができるようになっていた。自由な表現と自由な情報の流れを可能とする新しい力

＝インターネットの時代において、図書館が教育と研究に果たす役割は大きい。

ここで、若い学生たちに考えてほしいことは、私たちは「オンラインでつながった世界」という現実によく向き合い始めたばかりだということだ。そのため、一部にはそれらの手段を悪用しておぞましい犯罪行為に走る人もいる。しかし、私たちは個人が権力をコントロールできる新たな手段を得たことを認識し、一人一人が社会の担い手として自立し責任ある行動を起こすことを強く期待したい。



1～2月開館情報

2016年1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2016年2月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

開館時間

□ = 9:00～21:00 □ = 9:00～19:00
 ■ = 9:00～17:00 ■ = 8:30～21:00
 ■ = 休館日

- ・早朝開館: 1/14～2/10の平日は8:30開館
- ・映画DVD・LD視聴停止: 1/21～2/10
- ・グループ学習室全室開放: 1/28～2/10
- ・シラバス図書貸出停止: 1/28～2/10及び2/25～3/5

卒業年次生・別科生・科目等履修生の図書返却期限日は**2月10日(水)**です。返却は郵送でも受け付けています。

知って得する! 図書館活用術

論文・レポート作成のためのお役立ち情報

論文・レポートを書くためには、文献を参照することが必須です。今回は文献の調査・入手方法と、引用に関わる著作権法について、お伝えします。著作権法の知識は、社会に出てからも必要ですよ。

STEP 1. 文献の調査・入手をするには? まずはOPACやデータベースを使って検索してみよう

書名、著者名、特集記事タイトルなどで検索

「城西大学蔵書検索OPAC」を利用してください。
図書館トップページに検索窓があります。



雑誌記事、新聞記事、論文などを検索

図書館トップページの「データベース集」「電子ジャーナル」またはトップページ下部に「クイックリンク」があります。



STEP 2. 文献を引用するには? 他者の文章には著作権があります

引用ルールを守って、他者の文章を、自分の論文・レポートの補足資料として使うことができます。

「他の人の著書や論文の文章（図表を含む）を引用注記もつけずに無断でそのまま丸写しする行為は剽窃と呼ばれ、その著者や論文の作者に失礼なばかりでなく、知的所有権の侵害になります。なお、著者や論文を寸分たがわず丸写しすれば、それは盗作です…(中略)…これは絶対にやってはならない行為です（知的所有権の侵害については訴訟にいたるケースもあります）」*

※引用元：小林康夫、船曳建夫編『知の技法』東京大学出版会、1994年、225頁
一知的所有権は、著作権など、創作活動による利益に認められる権利です

ルールを守らなければ
著作権法違反になります

STEP 3. 文献を引用するときの出典表示方法は?

📖 図書の場合

著者名・書名（『 』）・出版社・出版年・引用ページ数

例）水田三喜男著『落のとう：水田三喜男自伝』城西大学、2000年、50頁

📖 論文、雑誌記事の場合

著者名・論題（「 」）・掲載誌名（『 』）・掲載誌の巻号数・出版社・出版年・引用ページ数

例）水田宗子、谷川俊太郎「老いと成長」『現代詩手帖』58(9)号、2015年、72頁

👉 論文の書き方がわかる本
2階、816.5の棚に配架しています。



『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』、『コピペと言われないレポートの書き方教室』など。
こうした図書も参考にして、正しいルールに則った引用を行いましょう。

図書館ホームページ「情報リンク集 > 論文執筆・投稿」でも作成に役立つものを紹介しています。

◇論文の書き方について→ 城西大学大学院 経営学研究科提供「論文執筆の技法」「修士論文要旨の書き方」
JST提供「SIST（科学技術情報流通技術基準）：参照文献の書き方」など。

◇論文執筆支援ツールについて→ 参考文献の管理や一覧を作成するためのツールとして、トムソン・ロイター提供「ENDNOTE basic」、エルゼビア提供「Mendeley」があります。どちらも図書館ホームページから無料で使えます。

著作権を知ろう 著作権は媒体や内容の質に関わらず、著作物が創作された時点で成立します

👉 図書館ホームページ「情報リンク集 > 著作権・法令」に、関連リンクをのせています。著作権法違反によって、新聞報道に発展するケースも多々あります。ぜひ在学中に理解を深めてください。

👉 著作権に関する蔵書
3階、021.2の棚に配架しています。



『大学生と著作権 / 神谷信行著』、『もう知らないではすまされない著作権』など。この機会に、まずは1冊借りて読んでみましょう。

👉 図書館では著作権の専門家を講師に招いた講演会も開催しています。

過去2回実施：2014年10月、2015年6月。
ホームページなどでお知らせしますので、ぜひご参加ください!

教員おすすめ本コーナー（1階）

先生方から「学生に読んでもらいたい本」として推薦いただいた図書です。図書には先生方からの推薦コメントが寄せられています。先生方が勧めるのは専門書ばかりではありません。推薦コメントを参考にし、気になる本からまず手に取ってみてください。読書を通して未知の世界を知るといことはとても楽しいことです。すぐに効果は出ないかもしれませんが、読書は必ず自分自身の糧になります。レポートや論文作成のための文章力もつきます。春休みの時間のある時に読書を楽しんでみませんか。



これまでにご推薦いただいた図書の一例（紙面の都合上、1冊ずつ掲載しています）

学長	森本雅憲先生	『宇宙は何でできているのか：素粒子物理学で解く宇宙の謎』
図書館館長	橋本フミ恵先生	『前へ!前へ!前へ!: 足立区の落ちこぼれが、バングラデシュでおこした奇跡。』
図書館副館長	関俊暢先生	『われ思うゆえに思考実験あり：最新科学理論がもたらす究極的知的冒険』

経済学部経済学科

石川共平先生	『キャリア教育のウソ』
勝浦信幸先生	『20歳のときに知っておきたかったこと』
神崎直美先生	『舟を編む』
小山真理子先生	『青が散る』
小山修平先生	『競争力』
小林孝雄先生	『地球環境報告』
清水昭男先生	『天才! 成功する人々の法則』
玉城逸彦先生	『日本銀行』
場勝義雄先生	『ニュースがわかる しゅみがわかる』
富貴島明先生	『不可能性の時代』

現代政策学部社会経済システム学科

飯塚智規先生	『震災復興における被災地のガバナンス』
真殿仁美先生	『経済学部タチバナキ教授が見たニッポンの大学教授と大学生』
森田昌幸先生	『スモールイズビューティフル』
柳澤智美先生	『楊家将』

経営学部マネジメント総合学科

佐竹博先生	『電子立国は、なぜ凋落したか』
持丸邦子先生	『「悪意の情報」を見破る方法』
吉田博行先生	『仕事人が人をつくる』

理学部数学科

神島芳宣先生	『忘れられた日本人』
小木曾岳義先生	『攻める健康法』

理学部化学科

石川満先生	『フーリエの冒険』
宇和田貴之先生	『マネーボール』
竹村哲雄先生	『小さな王子さま』

薬学部薬学科

荻原政彦先生	『セレンディピティと近代医学』
武内智春先生	『線虫の研究とノーベル賞への道』

薬学部医療栄養学科

松本明世先生, 真野博先生	『地域食材大百科』
真野博先生	『職漁師伝』

語学教育センター

高橋久美先生	『イリアス』
--------	--------

短期大学

渋井二三男先生	『ゲートの警告』
---------	----------

学生アドバイザー通信

12/11(金)に開催したライブラリーラウンジには13名の参加がありました。

第7回ライブラリーラウンジ「人を惹き付ける～コミュニケーションの心理術～」

今回のライブラリーラウンジの企画・進行を務めました嘉藤です。前半と後半に分け、前半では日常生活から使える簡単なコミュニケーション術を紹介し、後半では交渉の場面で使えるような少し難しい心理術を紹介しました。考えればわかる事でも、意外と普段できていない項目が多いと感じた方もいたと思います。意識すれば今日から簡単に使うことができる技術です。「早速使ってみます」との声もあったので、これを機に、心理術の利便性を知の方が少しでも増えてくださると嬉しいです。



学生アドバイザー
経済学部4年 嘉藤さん



～参加者の感想～

私は接客が必要なバイトをはじめ、バイトの度に上手にできていないように思っていたので、さっそく使ってみました。(薬学部 薬学科 1年生)

やり方を変えることが大事(ほめ方、仲良くなる方法、嫌いな人を好きになる方法)、この例がすぐ身に染みだ。聞く態度で相手の印象が変わることは知っていたけど、具体的に説明していただき分かりました。(理学部 化学科 2年生)

明るい陽の差し込む実験室で、たくさんの実験器具に囲まれながらお話を伺いました。今回は、新しく就任された先生に、図書館の紹介も兼ねてお邪魔しました。図書館に関するご意見や、学生へ望むことなど、幅広いご意見をお聞きすることができました。特に印象深かったのは「授業で聞いたことだけが試験範囲ですか、と聞く学生がいるが、授業で教えられることはほんの一部。与えられる知識だけで満足せず、自分のものとして理解し、深めることが大事です。学生には、どんなことにも興味を持って、もう一步踏み込んでほしいですね」と話されたことです。疑問を持ったらとことん調べる。それが学習の第一歩です。図書館には調べ物をするための資料や、専門家(図書館司書)がいます。まずは図書館に来て、1冊手に取ってみましょう。



今後も研究室訪問で伺った、先生からのメッセージを皆さんにお届けします。お楽しみに。

城西大学創立50周年記念城西大学読書感想文コンテスト2015表彰式を行いました

12月18日(金)、図書館3階グループ学習室にて表彰式を行いました。応募総数245作品の中から選ばれた受賞者へ、館長より「それぞれ着眼点が異なり、どの作品も素晴らしかった」とお祝いの言葉が贈られた後、賞状と副賞が手渡されました。表彰式後には館内ツアーと図書館前で行われたライトフェスティバルを楽しんでいただきました。

審査結果

グランプリ
 ・「教養によって導かれる国際性」 植田 瑞美(城西大学薬学部薬科学科2年)
 書名：『緒方貞子ー戦争が終わらないこの世界で』

準グランプリ
 ・「ディズニーから学んだこと」 小山 彩華(武南学園武南中学校2年)
 書名：『ディズニーランドであった心温まる物語』

優秀賞
<部門1(中学生・高校生の部)>
 ・「ウナギ 一億年の謎を追う」 遠藤 勝敬(西武台新座中学校1年)
 ・『『赤毛のアン』を読んで』 野呂 笑莉(西武台新座中学校1年)
 ・『『オリエント急行』に学んで』 小柴 いつみ(武南学園武南中学校1年)
 ・『『流星の絆』を読んで』 伊藤 佳(武南学園武南中学校2年)
 ・「慎一郎の選択と僕の運命」 佐々木 智也(さいたま市立土呂中学校1年)

<部門2(大学生・短大生の部)>
 ・「考え方の違いを理解する」 前田 のぞみ(城西大学現代政策学部2年)
 ・「今の日本に必要なこと」 長井 建太(城西大学薬学部薬科学科1年)
 ・「地域をつなぐ国際協力」 内藤 真也(城西大学現代政策学部2年)



Information

図書館と県民のつどい埼玉2015

12月13日(日)に、さいたま市民会館うらわにて「図書館と県民のつどい埼玉2015」が開催されました。このイベントは図書館や読書への関心をより深めることを目的に毎年開催されており、当館からは「世界を魅了した日本の版画」を出展しました。

人間地区公共図書館協議会

館長・職員研修会
 12月16日(水)に、日高市立図書館にて、これまで本学が行ってきた地域連携の取り組みについて、事務長の若生より事例報告を行いました。

1月の展示「お宝レトロな新聞」

書庫にある貴重な新聞を公開します。明治時代以降の臨場感ある記事や広告を手にとって読むことができます。また、読みたい記事を簡単に見つけられる新聞記事検索データベースも紹介します。

図書館クリスマス特別企画「本の福袋」



皆さんと、まだ見ぬ本との出会いをプロデュースするため、初の福袋企画を開催しました。中身は開けてからのお楽しみ。借りられるのを待つクリスマスプレゼントたちに、「かわいい」「おもしろそう」といった声が。用意した15袋はあっという間に借りられていきました。今回チャンスを逃した方は、今後も不定期に開催しますので、お見逃しなく!

2015年12月の図書館彙報

- 12/9 埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALA)の研修会に参加しました。
- 12/11 第7回ライブラリーラウンジを開催し、13名が参加しました。
- 12/13 図書館と県民のつどい埼玉2015に出展しました。
- 12/14 医中誌WEBの講習会を開催し、17名が参加しました。
- 12/18 読書感想文コンテストの表彰式を開催しました。

高校生見学
 群馬県立伊勢崎高等学校45名(12/11)、埼玉県立所沢中央高等学校46名(12/16)、
 群馬県立尾瀬高等学校22名(12/16)

発行：城西大学水田記念図書館
 〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1
 TEL : 049-271-7736
 FAX : 049-286-8126
 mail : library1@josai.ac.jp
 URL:http://libopac.josai.ac.jp
 TwitterID @lib_josai

図書館ツイッターのQRコードはこちら→